cat No. 24, No. 25

大田式　携帯用風向風速計・ハンド風速計説明書

株式会社 大田計器製作所

cat No. 24, No. 25

大田式　携帯用風向風速計・ハンド風速計説明書

1. 型　式

(1) cat No. 24：携帯用風向風速計
　　型式：風速;風杯式（4杯）
　　　　　風向;矢羽根式

(2) cat No. 25：ハンド風速計
　　型式：風速;風杯式（4杯）

2. 使用目的の範囲

風速計及び風向計などで各種の気象観測を行う場合、気象業務法で定められた規定があります。この「風速計及び風向計は気象業務法の対象外の器種」で、その目的によっては使用できませんのでご注意下さい。

(1) 下記の目的には使用できません
　a. 測定データーを公表する場合
　b. 測定データーを災害防止などに利用する場合
　c. 電気事業法の電気事業の運営に利用する場合

(2) 使用できる範囲
　a. 学校など教育のための目的
　b. 独自の研究のための目的
　c. 建物又は坑道の内部等、特殊な環境によって変化した気象のみを対象とした観測等

3. 風速計の概要 (cat No. 24, No. 25)

この風速計は、風速に応じて風杯が回転する軸回転を利用したもので、原理的には他の風速計と同じである。

ただし、他の風速計との違いは、

(1) 歯車伝導機構により**30秒間の平均風速値がm/s**で直示出来る

(2) 風速目盛りは、風洞試験により各風速に合致した値を目盛板上に刻んであるため、誤差の少ない補正された風速値を直接読取ることが出来る

4. 風向計の概要 (No. 24)

この風向計は、矢羽根の向きと磁石の方位との併用で、概略の方位を読取るもので、特徴は小型で簡便であること。

(1) 矢羽根の重りの向きと磁石による16方位の読取り

5. 携帯用風向風速計の仕様（cat No. 24）

付属部品：三脚、磁石

測定範囲：平均風速　0～22m/sまで

起動風速：瞬間風速　2.0m/s

測定方式：風速；30秒間測定後 STOP レバーによる平均風速（m/s）を直示

風向；矢羽根と磁石との併用で方位読取り

矢羽根の長さ：180㎜

高さ：430㎜（本体のみ）

重量：0.6kg（本体のみ）

三脚：70㎜×60㎜×1100㎜（三段を短縮して450㎜）重量＝0.8kg

6. ハンド風速計の仕様（cat No. 25）

付属部品：ニギリ

測定範囲：平均風速　0～22m/s迄（特注品35m/s＝cat No.25-B）

起動風速：瞬間風速　2.0m/s

測定方式：30秒間測定後 STOP レバーによる平均風速（m/s）を直示

風杯回転部の径：130㎜

高さ：370㎜（ニギリ付き）

重量：0.5kg

★三脚は別売り

7. 風速計の使用方法（cat No. 24. No. 25）

風速計を使用するときは、下記の順序で行う。

(1) 携帯用風向風速計を設置するときは、三脚を取付け、付属の磁石で水平と南北を確認する。測定者は風の吹く方向の邪魔にならない位置で行う

(2) 30秒間計れる時計、又は、ストップウォッチを用意する

(3) 風速計の裏側の Adjust ツマミを→印方向に回し、指針を0と22の間に置き、STOP レバーを軽く押さえる

(4) ハンド風速計は、風向に対し体を横向きに構え、目盛が目の高さに来るように風速計を持つ手を正面に延ばす

(5) STOPレバーを解除して、指針が0を指した時から時間を計り、30秒間測定し、STOPレバーを軽く押さえる

(6) 指針の指した数字を読取る。この時の数字が30秒間の平均風速m/sである

8. 風向計の使用方法（cat No.24）

風向計を使用するときは、矢羽根のバランスが取れるよう次の順序で行う。

(1) 付属の磁石は小型でありますが、水平が確認でき、16方位を示してある

(2) 三脚と磁石を用い、風速計の水平を保ち、同時に南北を合せる

(3) 矢羽根の重りの向きが風の吹く方向である

(4) (3)を確認し、磁石の方位との併用で風向を読取る

(5) 風は絶えず舞っている、5～6回の測定結果の平均値を採る

9. 使用上の注意（cat No.24. No.25）

風速について

(1) 目盛り付けは、風洞試験により所定の風速で刻み、補正された風速値で直読式にしてある。測定時には指針を必ず0と22の間に合せる

(2) 手に持って測定する場合は、出来るだけ風速計を垂直に保つ、30°以上傾斜していると正しい風速が計れない。出来れば別売りの三脚を用いる

(3) STOPレバーは、指針が止まる程度に出来るだけ軽く押さえる。軽くても強くても機能に変わりが無く、器械のためには軽く押えた方が良い

(4) 風杯には保護枠を付けてあるが、風杯を傷付けたり曲げたりしないように注意する

(5) デザイン上、風速目盛が22mまであるが、10m/s以上の強風は危険を伴うので**強風時での使用は避ける**

風向について

(1) 風は絶えず舞っているため、方向を特定するには平均値を用いる

(2) 水平を保つ

(3) 矢羽根を傷付けたり曲げないように注意する

※注意

当製品は屋外設置用ではございませんので、御使用後は屋内にて保管して下さい。

10. 保守点検

この風速計及び風向計は単純に出来ているため、殆どの場合保守は必要ありません。注油もむしろ埃を呼び、悪影響を及ぼす場合があります。必要な場合はメーカーに依頼して下さい。

株式会社 大田計器製作所

〒166-0015 東京都杉並区成田東2～39～20

☎ (03) 3313-0111(代)

FAX (03) 3317-5842